

平成28年度 糸魚川市道徳部 活動報告

部長 村山 学

1 活動の概要

文部科学省委託事業「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」2年目になる糸魚川市立能生小学校の授業研究会への参加を通して、道徳の教科化に伴う道徳の授業づくりについて研修を深め、自校の道徳教育の改善に役立てる。

2 研究主題

道徳的価値の自覚を深め、道徳的実践力を高める道徳授業の工夫と改善（2年次）

3 活動の実際

- 授業研究会、協議会の開催
- 授業づくり研修会（外部講師の招聘）の開催
…前玉川大学客員教授 後藤 忠 様
- 文部科学省委託事業「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」研究発表会
…文部科学省教科調査官 赤堀 博行 様



↑ 指導案作成演習

4 研修の内容

- ① 道徳の指導案作成演習 7/28
講師：前玉川大学客員教授 後藤 忠 様
 - ・心に響く道徳授業の展開（導入前→導入→展開の前段・後段→終末）の工夫
 - ・資料選択と資料提示の工夫
 - ・発問の工夫
- ② 道徳性を育む教育活動の見直しと道徳授業との関連付け
 - ・体験活動と関連させた年間指導計画と別業「道徳学習プラン」の作成
 - ・道徳的実践の場としての特別活動の見直しと心シートを活用した振り返りの工夫
- ③道徳授業研究会 11/4
 - ・授業公開と協議会
 - ・講演会「道徳の『特別の教科化』と授業改善の在り方」
講師：文部科学省教科調査官 赤堀 博行 様



↑ 授業公開後の協議会

5 成果と課題

教科化を考えれば、他の教科と同じように、全国どこでも、担任が週1校時の道徳を学びの深いものにできるよう、まず授業づくりの基礎基本を学び直すことである。教科書やそれに伴う指導書ができるとは言え、自ら教材を選び、分析し、理解し、発問を考え、価値の自覚を深める授業を実践していく力をつけることである。

道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議の指導方法・評価等についての報告で質の高い多様な指導方法として挙げられている中の「読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習」を中心に研修を積み重ねてきた。これをベースに、さらに問題解決的な学習や体験的な学習など多様な指導方法についての実践を積み重ねていく。